

問い合わせ先

書道パフォーマンス振興室 0896-28-6037



この寄付は「ふるさと納税対象」です！

受付期限 10/29 (木)

※返礼品はありません

※市内の方も控除対象となります

寄付に関する問い合わせ先

財政課 歳入対策室 0896-28-6005



詳しくは
こちらへ

ガバメントクラウドファンディングで高校生の挑戦を応援 日本一の紙のまちから世界へ 書道パフォーマンス、台湾進出

高校生の「まちを元気にしたい」という思いから始まった書道パフォーマンス甲子園。大阪・関西万博での特別大会を経て、その魅力を海外へ届ける挑戦が始まります。

今年12月には、四国中央市の高校生を台湾へ派遣し、現地の高校で演技披露と交流を行う予定です。そして、来年の第20回記念大会では、台湾の高校生チームの特別出演を目指します。

全国の高校書道部や市内の高校生運営チーム「SHiPs」、市内外の企業などに支えられ成長してきた本大会。台湾での交流を通して、その歩みと想いを次の世代へ受け継ぎ、第20回記念大会とその先の未来へつなげます。

派遣費用や道具類の調達にはガバメントクラウドファンディングを活用します。高校生の新しい挑戦の応援をお願いします。

大王製紙株式会社 「新用紙」開発プロジェクトの挑戦



高校生たちの思いを乗せる 24平方メートルの「白い舞台」

縦4メートル、横6メートル。舞台に広がる24平方メートルの巨大な紙は、高校生たちが青春を託す「白い舞台」です。家族への感謝や仲間との絆、積み重ねてきた努力を6分間の演技に込め、筆を走らせます。

この大会用紙を長年製造し、大会の歩みを支えてきたのが丸住製紙株式会社です。その功績と培われた技術への敬意を胸に、大王製紙株式会社が来年の本戦での使用を見据え、新たな一枚の開発を担いました。

高校生たちの演技を受け止める大会用紙は、どのように生まれたのか。開発担当者に話を聞きました。

interview



技術開発部
商品開発グループ チーフ
市川晴菜さん

最高の演技を受け止める
大会用紙の開発

開発で課題となったのは、激しい演技にも耐えられる強度の確保です。高校生が安心して思い切りパフォーマンスできる紙を目指し、墨のにじみ方や筆のすべり具合についても細かく調整を重ねました。

高校の練習にも同じ、実際に用紙を使った率直な感想や演技中に気を付けていることを聞きました。また、本番での足の動きや筆の運びを自分の目で確かめるため、本戦や万博大会にも足を運びましたが、演技の迫りに圧倒され、本来の目的を忘れるほど見入ってしまいました。

会場で得た気付きや練習の記録などは、開発や製造に関わる全員で共有しています。「この紙で、思い切り良いパフォーマンスをしてほしい」という気持ちは皆同じです。

大会用紙の開発を通して、みなさんの青春の一部に関われることに、大きなやりがいを感じています。悔いの残らないよう、全力でパフォーマンスしてください。

舞台の外へ、 物語は続く 書道パフォーマンス甲子園 THE NEXT STAGE

interview



選手歓迎班
野村愛桜さん
(土居高校3年)

選手に最高のおもてなしを選手歓迎班として、うどんの提供や本番前日の選手同士の交流会の司会などを担当しました。

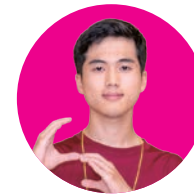
緊張している選手のみさんに、大会を楽しんでもらうことを第一に心掛けて、活動に取り組みました。

interview

活動の中で見つけた成長

観客歓迎班として、商品販売やアトラクションの司会などを担当しました。

SHiPsでの活動は、多くの人と関わる中でコミュニケーション力が身に付き、自分自身の成長にもつながりました。



観客歓迎班
加藤温翔 班長
(三島高校3年)

大会の未来を支える もう一つの高校生の力

水戸葵陵高校の連覇で幕を閉じた第19回大会。その感動の舞台裏には、選手たちと同じ高校生がつくり上げた、もう一つの物語がありました。

大会を支えたのは、市内の高校生運営チーム「SHiPs」を始めとする100人を超えるボランティア。異なる学校や学年の生徒たちが声を掛け合い、役割を全うする姿は、この大会が選手だけでなく、多くの高校生によってつくられていることを物語っています。

選手と共に真夏の書の祭典をつくり上げた経験と誇りは、次の世代へと受け継がれ、これからも大会を支える力となっていきます。



地方創生SDGsフェスとは
持続可能なまちづくりと地域活性化に取り組む地方自治体が顔を揃える、内閣府主催の展示会です。

常設



手漉き和紙職人
大西満王さんによる
手漉き和紙体験



※画像はイメージです
地方創生SDGs
“桃太郎電鉄”は持続可能な開発目標（地方創生SDGs）を支援しています。
©さくまあきら
©Konami Digital Entertainment

daily workshop



史上初 書道パフォーマンス甲子園3連覇
松本嶺ヶ崎高校
大澤一仁氏
書道体験



書道家
書道パフォーマンス甲子園アンバサダー
青柳美扇氏
書道体験



愛媛大学
紙産業イノベーションセンター
特別名誉教授
内村浩美氏
機能紙の紹介

3日間を彩る
日替わりワークショップ

地方創生SDGsフェスで 四国中央市が墨色に輝く！

四国中央市が単独出展！
展示ブースでは、大会の迫力や感動が伝わる写真を使った壁面装飾で大会をPRするほか、書道体験などができる日替わりワークショップを開催します。ぜひお越しください！

期間 9.25 FRI - 27 SUN

会場 東京ビッグサイト 西ホール
(東京都江東区有明)